

五所川原圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員からの意見一覧（令和元年8月21日開催）

（1）五所川原圏域定住自立圏共生ビジョン掲載事業の進捗状況

通番	事業名	意見概要
1	広域観光魅力情報発信事業	アジア系（中国系、台湾系）の観光客が増えているので、多言語のパンフレットがあれば対応がしやすくなる。
2	七里長浜港活用誘客促進事業	クルーズ客船入港実績がゼロになっている。クルーズ船が入港しない課題としては、港の施設整備がなされていないのか、それとも、観光コンテンツが不備なのか分析してもらいたい。
3	圏域公共交通連携事業	県の再編指針によると、今年度は出来島線、深浦線が再編対象路線で、十三線は当初対象になっていたが、関係市町でやるべきものという扱いになり、指針からは除外されていると認識していたので、内容を確認いただきたい。
		今後の方針に、「広域バス路線の生産性の向上に向けて、協議検討を進める」と記載されているが、本来であれば、既に実行年度に入ってなければならない段階だと考える。
		重要業績評価指標（KPI）の目標値として「重複区間を解消」するとしているが、路線の統廃合を進めていく中で、利用者を維持していくのは厳しいのではないかと。それよりは、各路線の「乗車密度を上げる」という指標にした方が現実的ではないかと。
4	学校給食への地産地消推進事業	地産地消の定義が市町ごとにばらばらだと思う。圏域産だけということではなく、県内産という形の地産地消もできると思う。
5	運動施設及び文化・社会教育施設の相互利用促進事業	克雪ドームは圏域の方が使用しようとする、他圏域の方達が予約を入れているために使えないという場合が多々あると伺っているので、利用に際する取り決めを考えていただきたい。